

※はじめにお読みください※

素材がアイロン可能かどうかを付属のラベルで確認をして下さい。

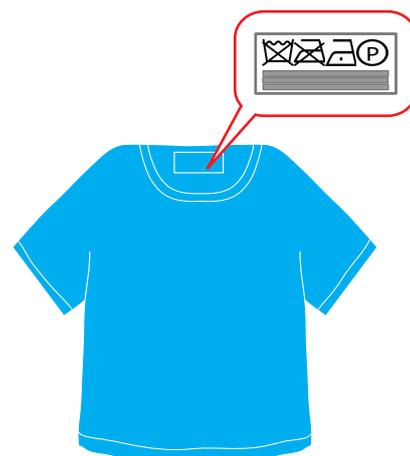
アイロンが不可の場合は右記のようなマークがついています。



ポリエステル生地への取付は可能では御座いますがアイロン接着に必要な高温にすると焦げたり色褪せの原因になったりしますので取付の際は必ず生地の様子を確認しながら行ってください。

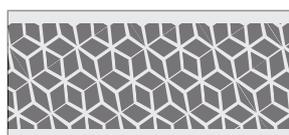
### 【アイロン接着が不向きな素材】

- ・ ナイロンなど撥水・防水加工がされている生地(主に雨具)
- ・ サテンなどツルツルした生地
- ・ フリース生地
- ・ タオル地等
- ・ 高級衣類、革製品、合皮など樹脂加工品



### 【取付について】

①この商品は表面のフィルムをつけたままあて布をし、アイロンで接着してください。

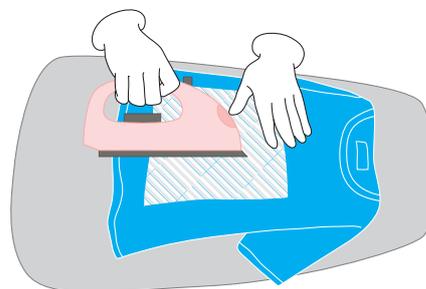
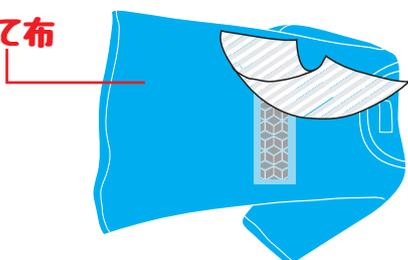


■ 表面のフィルムはそのまま  
※アイロン前にフィルムを剥がすと  
セグメントがバラバラになってしまいます

②中温設定で約20～30秒強めに押し当てます。できるだけ強くしっかり押さえましょう。反射布がずれないように反射面上にあて布を乗せて、あて布の上からアイロンで押さえ必ず貼り付け対象の様子を見ながら行ってください。

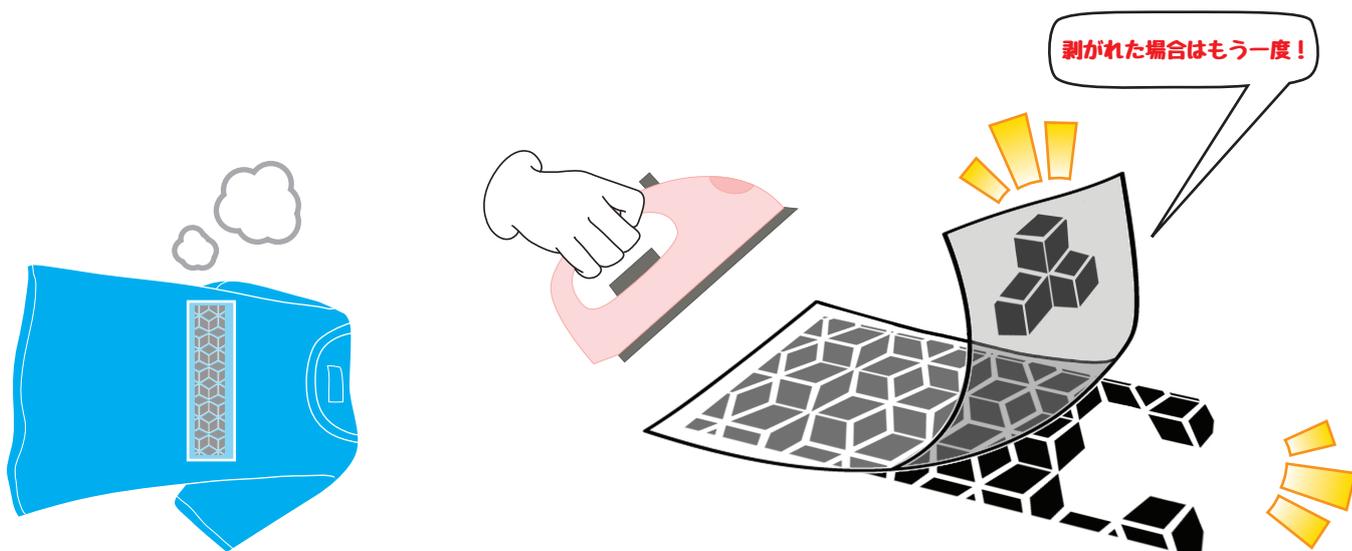
※給水タンクを空にし、スチーム機能は必ず切ってください。

あて布



③フィルムの表面が全体的に透明になったら圧着完了です。

反射フィルムが完全に冷め切ってから表面の保護フィルムを剥がして下さい。  
冷め切る前に剥がしますと、反射フィルムごと剥がれてしまう場合があります。



※冷めていてもフィルムにセグメントが残る場合があります

※ 表面のフィルムが白っぽくなっている場合は圧着が足りておらず、布に貼り付いていない為様子を見ながら圧着してください。

※稀にフィルムの跡が付着してしまう場合があります。その際はもう一度アイロンを押し当てて下さい。

表面のフィルムを剥がした後、仕上げにもう一度当て布をしてアイロンをあてるとより頑丈にくっつきます。

JIS L 1930 (中性洗剤)					
洗濯	漂白	タンブル	乾燥	アイロン	ドライ

ISO 6330 Type A 6N [ EN ISO 20471 ]					
洗濯	漂白	タンブル	アイロン	ドライ	

※※ 注意 ※※

フィルム全体が透明になっている場合でもセグメントがしっかり衣服等にくっついていない場合がございます。

表面のフィルムを剥がす際に、セグメントも一緒に剥がれてしまった場合は、一度フィルムを剥がすのを止め、元の位置に戻し再度フィルムの上にあて布をかぶせアイロンの先端でもう一度圧着をしてください。